



学校図書館だより 2月

令和8年2月27日
荒川区立第三中学校
校長 下斗米八穂
学校司書 中山理恵



延滞本の返却は すんでいますか？

*延滞本（貸し出し期限を過ぎた本）

お知らせ

3年生のみなさんへ

3年生への本の貸し出しは、3月6日(金)で終了となります。

なお返却期限は3月12日(木)です

現在返却期限をすぎて、まだ返していない本がある生徒は、すぐに返却を！
本を紛失してしまったなど、事情があって返却できない場合は、
担任の先生と相談の上、必ず図書館カウンターまで申し出てください。
紛失届の提出が必要です。



1,2年生のみなさんへ

期限を過ぎてまだ返していない本のある生徒は、図書委員から連絡があったと思います。「これ返したはずの本なんですけど・・・」など事情のある人は図書館カウンターまで来てください。

POP コンテスト in 南千住図書館 結果のお知らせ

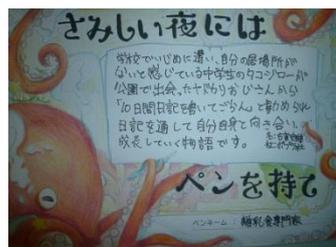
南千住図書館にて昨年10月にPOPコンテストが行われました。
三中の2年生の夏休みの宿題から、33人のPOPを応募したところ
投票によって最優秀賞・優秀賞・図書館員特別賞をいただきました！
現在POPのコピーが図書館前に掲示されています。
受賞作はじめ力作ぞろいです。ぜひご覧ください。

最優秀賞



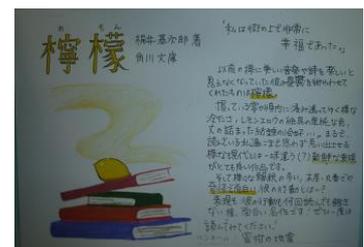
ペンネーム：&-さん

優秀賞



ペンネーム：離乳食専門家さん

図書館員特別賞



ペンネーム：蜜柑の地雷さん

(裏面へ)

新しく入った本

新着本コーナーにあります！ない場合は予約してね。

書名	著者	出版社	備考
成瀬は都を駆け抜ける	宮島未奈	新潮社	本屋大賞作品第3巻。京大生となっても我が道を行く成瀬とその仲間たち。
世界の深海生物大全	めかぶ	SBクリエイティブ	全127種の深海生物がイラストで描かれています。最後の想像画が個人的にツボです。
昭和100年今日は何の日	河出書房新社出版部／編	河出書房新社	歴史的事件、経済、政治、スポーツ、いま工もい昭和を1冊で。
もしも料理店	田丸 雅智	小学館	路地裏に“OGATA”の看板。ここは突拍子もない食材を意外な料理に仕上げてしまう料理屋。
国宝 上 青春篇 下 花道篇	吉田 修一	朝日新聞出版	国民の人気作となった映画ですが、原作はもっと深い！
海の賢者タコとくらす	もち	さくら舎	哺乳類に匹敵する知能を持つタコとの暮らし。ハイタッチもできる！
富士山のまりも たくさんのふしぎ傑作集	亀田 良成 斉藤 俊行	福音館書店	50年以上前に山中湖から持ち帰ったまりもを自宅で大切に生育していたら・・・
わたしを変えた夏	汐見 夏衛ほか	スターツ出版	さまざまな登場人物が自分の殻をやぶり、一歩踏み出していく姿を描いたアンソロジー（短編集）
日本手話へのパスポートーアヤ・セナ・ユイと学ぼうー	小野 広祐 岡 典栄	小学館	表情や手以外の体の動きも使って表現する日本手話。二次元コードで動画も。
目で見ることばで話をさせて	アン・クレア・レゾット	岩波書店	かつてヴィンヤード島では誰もが手話で話していた。小さなこの島の少女に起こった事件とは？

この時期おすすめの物語 一本であたたまるー

この時期どうしても食べたくなる

『イチからつくるチョコレート』

NPO 法人 APLA、オルタートレードジャパン
／編 農山漁村文化協会

幼少期「チョコレートをつくる」と聞いて、「カカオから？自分にはとてもできない」と思っていました。しかしこの本にはまさにカカオからの作り方が！いつか作ってみたいものです。

誰かを思う気持ちがあたたかい

『百貨の魔法』

村山早紀 ポプラ社

閉店が近いと噂される星野百貨店。そこに勤めるさまざまな思いをかかえた人々。願いを叶えるという小さな白猫が住むここで、人々の思いがつながり、やがて奇跡を起こします。

生きるパワーをもらえます

『生きるぼくら』

原田マハ／著 徳間書店

引きこもり歴4年24歳の麻生人生。支えていた母があるとき置手紙を残して家出してしまいます。年賀状には、大好きなばあちゃんから余命数か月との知らせが！人生は、ばあちゃんのいる藪科に向かいます。

あなたの心も救われるやさしい物語

『木曜日にはココアを』

青山美智子 宝島社

喫茶店「マープル・カフェ」で出された一杯のココアから始まる、東京とシドニーをつなぐ12話のお話。小さな出来事がつながって、ひとりの命が救われます。

雪の妖精シマエナガでほっこり

『とことんエナガ、シマエナガ』

BIRDER 編集部／編 文一総合出版

北海道だけに住む真っ白でもふもふの小鳥、シマエナガ。その写真や生態、仲間のエナガについても知ることができの一冊。

知らない誰かにあたたかい料理をとどける

『八朔の雪』

高田郁／著 角川春樹事務所

大阪からやってきた天涯孤独の少女。江戸の人々にはなじみのうすい上方料理を出す「つる家」の料理をまかせられ味の違いにとまどいながら奮闘します。